

ヒルガオ科 サツマイモ属

マルバルコウ (丸葉縷紅)

Ipomoea coccinea L.

自生環境

道ばた、荒地、畑地 など

原産地

熱帯アメリカ

予想される被害



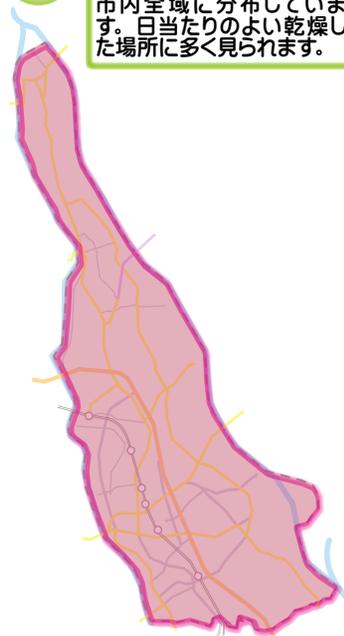
繁殖力がとても強いため、他の植物の生育場所を奪ってしまうおそれがあります。また畑に生えたと、農作物に絡みついたつるが、機会による収穫作業の妨げになります。

特徴

- ★ 熱帯アメリカ原産で、日本には江戸時代に観賞用に渡来しました。現在はほとんど栽培されることはなく、繁殖力の強いつる草として道ばたや畑地などにはびこっています。特にトウモロコシ畑で問題となっており、作物に絡みついて成長が悪くなったり、収穫時に絡まって機械作業の妨げになったりしています。
- ★ 茎はつる性で成長が早く、あちこちに絡みつながら数mもの長さのびていきます。葉は縦長のハート形で先はとがり、縁はところどころが角張ったような感じになります。
- ★ 夏～秋に直径 2cmほどの鮮やかな朱色の花を咲かせます。花の中心はやや黄色っぽくなっています。果実が未熟な状態で茎が切れてしまっても、切れた状態のまま熟することができ、きちんと発芽能力のあるタネができるといえます。

市内の分布状況

市内全域に分布しています。日当たりのよい乾燥した場所に多く見られます。



園芸種ルコウソウの仲間

真っ赤な星形の花と、細かく切れこんだ葉が魅力のルコウソウは、熱帯アメリカ原産で、日本には江戸時代に渡来しました。マルバルコウはこのルコウソウと同じ仲間です。ちなみに、本種とルコウソウの交雑種が、モミジのように切れこぶ葉をつけるモミジバルコウです。ルコウソウ、モミジバルコウともに、観賞用に栽培されます。ただしいずれも今のところは、あまり野生化はしていません。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

